



【交通安全子供自転車富山大会に向けて】

- 7月3日(日)に、「交通安全子供自転車富山大会」が行われます。これは、実技(安全走行、技能走行)と学科(交通標識・交通法規等)を行い、点数を競うものです。
- 南砺市では、出場校をローテーションで決め、今年度は井波小学校が出場する年です。順番では、本来、令和2年度の出場でしたが、コロナ禍で中止となりました。令和3年度も中止でした。現在のところ、今年度は実施する予定とのことです。
- 選手は4名です。なかなか練習する時間がない中、週3回(朝)実技練習、週2回(昼休み・放課後)学科練習をしています。
- 昨日の朝、市交通安全協会の会長と事務局長の方が来校され、練習の様子をご覧になられ、最後に激励の言葉をいただきました。
- 自転車練習は、学習指導要領の内容にはないもので、授業時間外に練習をしています。短い練習時間の中で、自転車操作が急に上達するものではありません。学科に関しても、交通標識を覚えたり、交通ルールに関する問題を解いたりするのに、かなりの時間が必要です。限られた時間内で、いかに上達するかです。
- 実は、私は小学生のとき、自転車大会の選手でした。当時は、市の大会、富山県の大会、中部大会、全国大会がありました。また、世界大会もあったと聞いていました。私の小学校は練習時間が大変長く、授業よりも自転車練習に力が入っていました。そのため、私たちは自転車操作能力は高く、交通標識もほぼ覚えていました。水につかったら筋肉が緩むから、プールに入ってはいけませんでした。学校の宿題はなしで、代わりに標識を覚えるのが宿題でした。登下校も、選手は自転車で通っていました。
- 今の時代、そのようなことはできません。しかし、選手にとって、南砺市代表として県自転車大会に出場したという事実はずっと残ります。当日、選手4名は、自分の力を発揮してほしいと思います。

